

## 平成 27 年度「代議員」立候補申込用紙

年 月 日

日本化学会 \_\_\_\_\_ 支部長 殿

氏名 \_\_\_\_\_ 印

私は、平成 27 年度「代議員」として立候補いたしますので、よろしくお願いいたします。

- ・候補者氏名 \_\_\_\_\_
- ・会員番号 \_\_\_\_\_
- ・会員種別 \_\_\_\_\_ ・所属先 \_\_\_\_\_
- ・連絡先住所 \_\_\_\_\_
- ・電話番号 \_\_\_\_\_ ・Fax. \_\_\_\_\_
- ・E-mail address \_\_\_\_\_

## —日本化学会秋季事業—第 4 回CSJ化学フェスタ 2014 各種募集のご案内

化学フェスタ実行委員会

2014 年 10 月 14 日（火）～ 16 日（木）、タワーホール船堀（東京都江戸川区）において“—日本化学会秋季事業—第 4 回 CSJ 化学フェスタ 2014”を開催します。日本化学会秋季事業として 2011 年にスタートした CSJ 化学フェスタも今年で第 4 回を迎え、ポスター発表の学生には「産学官の先端研究者と議論し交流できる場」として、産学官の参加者には「最新の研究や技術開発動向を把握し議論できる場」として好評をいただき、また公開企画の参加者も年々増え、「産学官の交流深耕」と「化学の社会への発信」という趣旨に沿った日本化学会独自の特長あるイベントとして評価が定着してまいりました。前回から「タワーホール船堀」に会場を移して規模を拡大しましたが、今回も、より魅力的な企画、驚きの企画、参加してよかったと思っただけの企画を準備しています。詳細は本紙 8 月号に掲載しますので、ご期待下さい。

本号では、1) 学生ポスターセッションの発表募集、2) 産学官 R&D 紹介企画の参加募集、3) 広告募集についてご案内します。

なお、CSJ 化学フェスタには多くの学生が参加されますが、近々に就職を控えた学生と企業との情報交流に関しては、すべての企画において日本経済団体連合会の「採用選考に関する企業の倫理憲章」の精神を尊重し、その定めるところを厳格に遵守することを申し添えます。

## 記

- 会 期** 2014 年 10 月 14 日（火）～ 16 日（木）
- 会 場** タワーホール船堀（東京都江戸川区船堀 4-1-1）
- 実行委員長** 多田啓司（旭化成）、加藤隆史（東大院工）
- 重要な日程**
  - ポスター発表募集/予稿提出期間 6 月 24 日～7 月 24 日 詳細は本号
  - 参加予約期間 7 月 24 日～9 月 5 日 詳細は本誌 8 月号
  - プログラム公開 8 月 25 日（予定）
  - 予稿集発行日 9 月 24 日（予定）
- 問合せ先** 日本化学会 企画部 瀬田・久後  
電話(03)3292-6163 E-mail: festa@chemistry.or.jp
- ウェブサイト** <http://www.csj.jp/festa/>

## 学生ポスターセッション 募集要項

学生と産学官の先端研究者が議論し交流することを目的として、学生ポスターセッションを実施します。審査を希望する発表については、「発表者の研究への寄与」、「質疑応答」、「研究の独自性と発展可能性」などを基準に産業界とアカデミアの審査員が審査し、優秀な発表に対してポスター賞が授与されます。最優秀ポスター発表賞には副賞も贈呈し、「化学と工業」誌へ受賞者コメントを掲載します。会場では同時に産学官 R&D 紹介企画の「R&D 展示ブース」が開催され、企業研究者と交流することもできます。

### 1. 発表申込について

#### (ア) 申込期間

2014年6月24日～7月24日

#### (イ) 申込方法

本大会ウェブサイトの申込フォームからお申し込み下さい。フォームが使用できない場合にはお早めに事務局にご相談下さい。締切日以降は対応できかねますのでご注意ください。

#### (ウ) 申込完了の確認

発表申込が完了すると、講演1件ごとに発表受付番号とパスワードを発行します。また、申込内容を申込時に入力したE-mail アドレスに通知します。申込者は、発表受付番号が発行されていることと通知が来ていることを必ずご確認ください。通知未着の場合には、必ず事務局までE-mailにてお問い合わせ下さい。期限後のお問い合わせには対応できませんのでご注意ください。

#### (エ) 採否の決定

申込発表の採否及びプログラム編成（発表分野、日時など）は、化学フェスタ実行委員会に一任とします（希望と異なる場合もあります）。

#### (オ) ポスター番号の通知

申込時に入力したE-mail アドレス宛に通知します。通知未着の場合には、事務局までお問い合わせ下さい。

#### (カ) 発表申込の取消

発表申込後に発表を取り消すと、プログラム編成に支障をきたします。必ず、発表申込内容に関して指導教員の確認を受けてからお申し込み下さい。理由の如何にかかわらず、講演予稿原稿を提出した後の差し替え、取り下げは認められません。

#### (キ) 告知

講演予稿集をもって特許における告知日とされる方は、発行日以降権利が6ヵ月保留されることとなります。特許出願の際に必要な発表証明については、下記 URL をご参照下さい。インターネットでの公開内容も研究内容の告知に当たります。

<http://www.chemistry.or.jp/application/certificate/research.html>

#### (ク) 著作権

講演予稿集に記載された内容に関する著作権は、日本化学会に帰属するものとします。したがって本会が必要と

認めるときは転載し、また外部からの引用の申請があったときは本会において検討の上、許可することとします。

#### (ケ) ポスター発表賞

審査を希望するポスター発表に対して審査を行い、「最優秀ポスター発表賞」、「優秀ポスター発表賞」を授与します。発表申込時に、「審査を希望する」にチェックして下さい。

### 2. ポスター発表について

#### (ア) 発表内容と発表者の条件

**討論に重点を置くため、発表内容に既発表を含んでも構いません。発表者は学生に限り、発表件数は1人1件とします。**

#### (イ) 発表形式と発表時間

ポスター発表のみとし、発表時間は60分です。ポスターボードのサイズは高さ180 cm × 幅120 cmの予定です。

#### (ウ) 登壇料

発表には登壇料（下表）が必要です。登壇料には化学フェスタ参加費及び講演予稿集代（1部）が含まれていますので、別途参加登録の必要はありません。

区分	登壇料
学生会員	4,000円
非会員学生	5,000円

8月中旬に、発表者連絡先へ請求書・振替用紙を送付します。必要事項を記入の上、期日までに登壇料をお支払い下さい。

\*登壇料の課税区分は課税です。

#### (エ) 発表言語

日本語もしくは英語とします。

### 3. 発表申込分類

ポスター発表の申込分類は以下のとおりです。

1. 物理化学
2. 無機化学・分析化学
3. 有機化学
4. 錯体・有機金属化学
5. 天然物化学・生体機能関連化学・バイオテクノロジー
6. 高分子化学
7. 触媒化学
8. 材料化学

### 4. 予稿原稿

#### (ア) 提出期間

2014年6月24日～7月24日

※締切期日までに講演予稿原稿の提出がない場合は、講演を中止したものとしますのでご注意ください。

#### (イ) 作成方法・提出方法

本大会ウェブサイト上にあるテンプレートを利用して、A4判用紙1/4程度の予稿原稿をPDFファイルで作成して下さい。作成後、本大会ウェブサイト上の投稿フォームからご提出下さい。提出の際には、発表申込時に発行される受付番号、パスワードをお使い下さい。

## 産学官R&D紹介企画 募集要項

学生ポスターセッションで発表あるいは聴講する学生をはじめとして、企業・大学・国研などすべてのCSJ化学フェスタの参加者に向けて、産学官それぞれの研究開発アクティビティを紹介する場として、産学官R&D紹介企画を実施します。本企画は回を追うごとに講演者や出展者、来場者も増え、年々注目度が増しています。今回は前回以上に規模を拡大して、企業だけでなく大学や国研など幅広く参加機関を募ります。学生や大学・国研などへ向けた企業のR&D活動PR、企業へ向けた大学や国研の研究シーズPR、共同研究や連携を意図した研究内容の紹介など、産学官の連携と交流を深耕する契機として、是非この機会をご活用下さい。なお、企業と学生の交流に関しては、日本経済団体連合会の「採用選考に関する企業の倫理憲章」を遵守した運営を行います。

### 1. R&D セッション（講演）

参加機関の全体像やR&Dアクティビティ、技術トピックスや製品開発事例、PRしたい研究成果、人材育成やキャリアパス、連携事例やグローバル展開など、バラエティに富んだ様々な講演で参加機関の特徴を紹介していただきます。講演者は、研究開発の最前線に立つ研究者や技術者から管理部署のマネージャクラスまで参加機関により様々です。写真や動画を活用し、失敗・挫折・苦労のエピソードを盛り込むなどして、「これがうちの面白いところ」、「この技術は世界でうちが一番」といったユニークな話や自慢話をアピールして下さい。前回より開催日時枠を増やして、30講演を実施する予定です。

#### (ア) 日時

2014年10月14日（火）～16日（木）

#### (イ) 会場

タワーホール船堀内

#### (ウ) 開催形態

80名程度収容の会場にて1回30分（予定）の講演を行います。

#### (エ) 募集数

30講演を募集します。

※複数のテーマでの複数回の講演や、日時枠を変えて同じ講演の複数回の実施を歓迎します。是非ご検討下さい。

#### (オ) セッション登壇料

講演数	登壇料（税別）
1回講演	70,000円
2回講演	120,000円
3回講演	180,000円

※複数回講演の場合、上表のとおり講演回数に応じて割引します。

※R&Dセッション（講演）とR&D展示ブースを併せて申し込む場合（『産学官R&D展示・セッションパック』）、登壇料と出展料の合計の1割を割引します。

※申込締切後に請求書を送付しますので、指定口座への

振込にてお支払い下さい。

※登壇者（1名）はCSJ化学フェスタ参加費が無料です。

1機関から複数テーマで複数名が講演する場合、登壇者すべてが参加費無料です。

#### (カ) セッションプログラム

化学フェスタ実行委員会が全体の構成を勘案してプログラムを決定します。

#### (キ) 講演機材

会場にはプロジェクター・スクリーン・レーザーポインタ・マイク・RGBケーブルを用意します。PCは講演者自身で用意して下さい。

#### (ク) 申込方法・申込締切日

E-mailにて、1) 機関名（企業、大学、国研、等々）と担当者連絡先、2) 登壇者数と講演数を [festa@chemistry.or.jp](mailto:festa@chemistry.or.jp) 宛にご連絡下さい。

申込締切日：7月末日

### 2. R&D 展示ブース

参加機関の研究開発アクティビティを展示ブースで紹介していただきます。機関の全体像や研究方針、製品などの一般的な紹介だけでなく、得意技術や特徴的製品の開発事例、PRしたい研究成果など、具体的にアピールして下さい。ポスターだけでなく、製品サンプルやモデルの展示、動作デモンストレーションやムービーモニタなどの活用も是非ご検討下さい。前回は、学生ポスターセッションに参加する学生を筆頭に多くの産学官の参加者が会場に詰めかけ、大盛況の中で様々な質疑応答が繰り広げられました。幅広い議論に対応する意味で、R&D戦略や技術戦略に関わる部署と展示技術や製品に関わる部署の方がペアで説明されることをお勧めします。

#### (ア) 日時

2014年10月14日（火）～16日（木）

※10時～17時（1時間の休憩を含む）

#### (イ) 会場

展示ホール（学生ポスターセッションと同一会場）を使用します（ただし、出展希望数や出展内容によっては、事前に相談の上、一部変更の可能性があります）。

#### (ウ) 開催形態

会場に展示ブース（H210cm × W180cm × D60cm）を設置します。展示時間は各日6時間ですが、説明者のブース常駐は必須ではありません。搬入・搬出は展示時間の前後30分です。

#### (エ) 募集数

3日間でのべ96小間を募集します。

※複数小間、複数日の出展をお勧めします。是非ご検討下さい。

#### (オ) ブース出展料

出展日数	出展料（税別）	
	1小間	2小間
1日	70,000円	120,000円
2日	120,000円	220,000円
3日	180,000円	340,000円

※複数日出展の場合、上表のとおり1小間1日の料金を

基準に出展日数に応じて割引します。複数小間出展の場合、1小間各日の料金を基準に小間数に応じて割引します。

※『産学官 R&D 展示・セッションバック』の場合、出展料と登壇料の合計の1割を割引します。

※申込締切後に請求書を送付しますので、指定口座への振込にてお支払い下さい。

※展示ブース1小間・1日あたり説明者2名に、「入場証」(産学官 R&D 紹介企画の会場のみ入場可)を配布します。

(カ) 設備

バックパネル2枚、机1本、社名板、画鋲を用意します。電源は会場付帯設備を利用するため、事前に申請して下さい。小間あたり PC1 台程度の利用を想定しています。

(キ) 小間割

化学フェスタ実行委員会が、申込順や会場の構成等を勘案して小間割を決定します。複数小間に出展の場合は、小間を繋げて割当てます。複数日に展覧の場合は、同じ小間を割当てます。

(ク) 申込方法・申込締切日

E-mailにて、1) 機関名(企業、大学、国研、等々)と担当者連絡先、2) 出展希望日と小間数、3) 電源使用の有無と使用予定機器を [festa@chemistry.or.jp](mailto:festa@chemistry.or.jp) 宛にご連

絡下さい。

申込締切日：7月末日

## 広告掲載募集要項

参加者へ配布されるプログラム・予稿集への広告を募集します。学生を含む約2,000人の産学官の研究者が参集しますので、大きなPR効果が期待できます。是非とも各機関(企業、大学、国研、等々)からの広告掲載を賜りたく、お願い申し上げます。

(ア) 掲載場所・掲載料金

掲載場所	掲載料金
表2~4・カラー	108,000円~

サイズは天地260×左右180mm、入稿形態は完全データ(出力見本添付)とします。上記以外の前付ページへの出稿も可能ですのでお気軽にご相談下さい。

(イ) 申込・原稿データ締切日

8月末日

(ウ) 申込・問合せ先

日本化学会 企画部 瀬田

電話(03)3292-6163 E-mail: [festa@chemistry.or.jp](mailto:festa@chemistry.or.jp)

## 第94春季年会(2014) 「学生講演賞」及び「優秀講演賞(学術)」の表彰

第94春季年会実行委員会委員長/学術研究活性化委員会委員長 渡辺 芳人

本会では若手研究者が各自の研究をまとまった形で発表することによって、その研究のより一層の進展と活性化を図ることを目的として、第83春季年会(2003)から、従来の講演「A講演」(講演7分、討論3分)に加え、「B講演」(講演15分、討論5分)を設けております。B講演の発表資格は「正会員または大学院博士(後期)課程に在籍する学生会員」で、このうち優れた研究発表には「学生講演賞」を贈呈していますが、さらに第86春季年会(2006)から新たに受賞年の4月1日時点で満36歳に達していない審査希望者に「優秀講演賞(学術)」を授与し本会会長名で表彰することにいたしました。

「学生講演賞」並びに「優秀講演賞(学術)」は発表内容、プレゼンテーション、質疑応答などにおいて優れた講演で、講演者の今後の一層の研究活動発展の可能性を有すると期待されるものに対して贈呈するものです。

今年度の第94春季年会は去る3月27日から30日までの4日間、名古屋大学東山キャンパスで開催され、「学生講演賞」は対象のB講演337件の中から101件が、「優秀講演賞(学術)」は対象のB講演195件の中から39件が、それぞれ選考されました。選考は次のようにして行いました。

①当該部門のプログラム部門長または編成委員、②プログラム編成委員より推薦された正会員、③講演座長、の3名が該当講演を聴講し、採点表をもとに審査しました。その結果をもとに第94春季年会実行委員と学術研究活性化委員で構成された選考委員会で選考し、第94春季年会実行委員会(平成26年4月10日開催)で決定しました。

今年度の受賞者は以下のとおりです。これらの受賞者にはその栄誉をたたえ、さらに一層の研鑽を積まれますことを期待いたしまして玉尾皓平(平成25年度会長)名の表彰状を「学生講演賞」の場合は受賞者の所属機関長を経由し、また、「優秀講演賞(学術)」の場合はご本人に直接お届けいたしました。

### 「日本化学会第94春季年会(2014)学生講演賞」受賞者一覧

【物理化学関係】

(物理化学、分析化学、コロイド・界面化学、理論化学・情報化学・計算化学、有機結晶)

1D3-30  $\pi$ -d系有機導体(DIETSe)<sub>2</sub>MBr<sub>4x</sub>Cl<sub>4(1-x)</sub>[M=Ga, Fe]の高圧力・強磁場下における物性(京大院理)

川口玄太 氏

1E1-05 S<sub>2</sub>→S<sub>3</sub>遷移でOECに結合する水分子の役割に関する理論的研究(1):S<sub>3</sub>とS<sub>4</sub>状態の反応活性部位の分子構造と電子状態(三重大院工)市野智也 氏